



本町ほのぼのだより 第41号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 Tel 03-3373-1666

発行年月日：平成30年2月24日 第41号

第41回 本町図書館 「個性ある図書館」展示

読み直し！明治の文学

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第41回目となる今回は、「読み直し！明治の文学」と題して、「近代文学（明治の文学）」をテーマにした展示をお届けします。

今年は、明治維新から150年です。

江戸時代が終わり明治になると、文明開化によって、西洋の文化・技術が入ってきて、日本の社会は急激に変わりました。

文学の世界でも、西洋の文学や学問、思想の影響を受け、大きく変化します。例えば、話し言葉を使って表現するという、革命的な出来事がありました。また、後に文豪と呼ばれる森鷗外や夏目漱石らが登場し、名作を世に発表しました。

この機会に、ぜひ明治時代の文学を読み直してみませんか？



展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成30年2月24日(土) ～ 4月26日(木)

※ 展示資料は貸出もできます。

明治の文学～主な流れ～

江戸時代までの日本文学の流れは、西洋の新しい思想や文学の影響を受け、様変わりします。明治初期は、政府の文明開化の方針により、西洋化こそが近代化への近道とされ、西洋近代思想の啓蒙運動が広がります。

【言文一致運動～話し言葉を使う作品の登場～】

小説類では、江戸時代の戯作などにみられるスーパーヒーローが活躍して悪を懲らしめる、勧善懲悪的な活躍は否定され、現実の人間のあるがままを描くべきとする「写実主義」が坪内逍遙、二葉亭四迷により提唱されます。坪内逍遙は『小説神髓』を、二葉亭四迷は『浮雲』を著しました。二葉亭四迷の『浮雲』は言文一致体の小説でした。言文一致とは、日常に用いられる話し言葉と書き言葉を一致させた文章のことです。それまでは、話し言葉と書き言葉は違いました。

明治20年代には、西欧化への反動として、国粹主義運動が盛り上がり、日本の古典、特に江戸文学の西鶴を再評価する気運が生じました。そして、尾崎紅葉や幸田露伴らの「擬古典主義」が流行します。しかし、キリスト教ヒューマニズムやフェミニズムの考え方の普及により、「浪漫主義」が台頭します。北村透谷、与謝野鉄幹・晶子夫妻、石川啄木、国木田独歩、泉鏡花、樋口一葉などが活躍しました。

【自然主義小説とその反動】

明治30年代初期には、日本に「自然主義」が伝わり、島崎藤村の『破戒』、田山花袋の『蒲団』などの「私小説」が流行します。自然主義はリアリズムの手法で、日本の近代文学の発展に貢献しましたが、反面、人間の捉え方が卑小であることなどから、自然主義への反動として反自然主義的な動きが出てきます。特に森鷗外と夏目漱石は、独自の道を歩み、「余裕派」または「高踏派」と呼ばれました。

明治初期の短歌・俳句は、旧態依然としていましたが、正岡子規の登場により、技巧に走らない「写生」をめざす方向に変化しました。

西暦												文学作品や文学の動き
1868	85	87	89	90	91	95	97	1900	01	05	06	
明治改元	『小説神髓』(坪内逍遙)	『浮雲』(二葉亭四迷)	『於母影』(森鷗外ら訳)	『舞姫』(森鷗外)	『五重塔』(幸田露伴)	『たけくらべ』(樋口一葉)	『金色夜叉』(尾崎紅葉)	雑誌「ホトトギス」創刊	『高野聖』(泉鏡花)	雑誌「明星」創刊	『みだれ髪』(与謝野晶子)	『吾輩は猫である』(夏目漱石)
											『破戒』(島崎藤村)	『蒲団』(田山花袋)
											雑誌「アララギ」創刊	『一握の砂』(石川啄木)
											雑誌「白樺」創刊	



樋口一葉



石川啄木

明治のベストセラー～旧幕臣の書いた本～



明治初期のベストセラーは『学問のすゝめ』（著：福沢諭吉）、『西国立志編』（訳：中村正直）、『輿地誌略』（著：内田正雄）です。この三冊の著者は三人とも幕臣でした。福沢諭吉らは積極的に西洋の思想や文化を日本に紹介しました。彼らの著作は文学者たちに影響を与えました。

福沢諭吉は中津藩士でしたが、幕末に欧米へ派遣されて見聞を広めます。帰国後には、幕府の外国奉行翻訳方を務めました。維新後は官職を辞しました。明治5（1872）年から数年かけて刊行された『学問のすゝめ』は、最終的に300万部以上売れたと言われています。

中村正直は文久2（1862）年に幕府儒官となりました。その後渡英し、帰国後には静岡学問所の教授となります。明治4（1871）年にはイギリスの思想家・サミュエル・スマイルズの『自助論』を翻訳し、西洋思想を紹介しました。序文の「天は自ら助くる者を助く」の一説は有名です。こちらは明治時代の終わりまでに100万部以上を売り上げました。

内田正雄は長崎海軍伝習所に入所し、航海術・測量法・語学・世界地理・西洋数学などを学びます。文久2（1862）年にはオランダへ派遣されました。オランダでは軍艦を購入し、渡欧中はパリ万博の折衝、遣欧使節団の応接などの職務を行い、慶応3（1867）年に帰国します。明治維新では一度官職を辞しますが、その後、学校取調御用掛として官職に復帰しました。内田正雄が手掛けた『輿地誌略』は、各国の国勢、政体などについて書かれた全4編12巻の著作です。9巻刊行後に内田は他界しますが、遺された草稿をもとに著作は完成しました。

俳句の革新と明治の俳人たち



江戸時代の「俳諧」は正岡子規の革新によって、「俳句」となりました。江戸時代末期の「俳諧」は言葉遊びのようになっていましたが、子規はこれを批判。みたものをありのままに表現する、「写生」という表現方法を取り入れました。また、雑誌「ホトトギス」で俳句の指導を行いました。

正岡子規に師事した主な俳人に、河東碧梧桐と高浜虚子があります。河東碧梧桐は五・七・五の形にとらわれない「自由律俳句」を作るようになりました。さらに、季語も使わなくなり、「新傾向俳句」という流派の中心になりました。高浜虚子は子規に教わった「写生」に加え、季節感を重視します。また、五・七・五の形と季語を守る伝統を守り、多くの俳人を育てました。

明治短歌の作家たち

正岡子規は、短歌でも「写生」を取り入れました。子規は『万葉集』を高く評価し、根岸短歌会という短歌結社を開き、伊藤左千夫などを指導しました。伊藤左千夫は子規の死後、「アララギ」「馬酔木」という雑誌を創刊し、近代短歌の基礎を作りました。



明治時代の後期、与謝野晶子が短歌を発表し始めます。明治34（1901）年に発表した第一歌集『みだれ髪』は、情熱的な恋愛歌が、当時としては大胆すぎると評判を呼びました。また、日露戦争に召集された弟を想い、「君死にたまふことなかれ」という詩を詠みました。他にも、源氏物語の現代語訳を行うなど、多方面に活躍しました。

文豪エピソード～子規と漱石～



正岡子規と夏目漱石は共に明治を代表する文豪です。ここでは、二人のエピソードを追っていきましょう。

彼らは共に慶應3（1867）年生まれ。明治17（1884）年には東京大学予備門予科に進学します。そんな二人は明治22（1889）年、落語の話をきっかけに仲良くなり、文学を語り合うようになりました。

漱石は子規のことを「非常に好き嫌いのあつた人で、滅多に人と交際などしなかつた。僕だけどういふものか交際した」と語っています。

明治34（1901）年、子規は死の約一年前、ロンドンに留学中の漱石に手紙をしたためます。そこには「僕ハモーダメニナッテシマッタ」と書かれていました。他にも病状などに対する愚痴や弱音を漱石への手紙にこぼしています。遠い場所にいた漱石は、旧友からの手紙をどのような気持ちで読んだのでしょうか。漱石は子規の死後、『吾輩ハ猫デアル』の中で子規からの手紙を引用しています。



これらの交流からこの二人は、共に文学を通して心の内をさらけだせる仲だったとわかります。このように文豪たちの交友関係やエピソードを知った上で各々の作品を読むと、また新たな発見があるかもしれませんね。

文豪エピソード～鴎外と舞姫のその後～



森鴎外の代表作『舞姫』は、鴎外自身のドイツ留学の経験をもとに書かれました。『舞姫』の主人公・太田豊太郎は留学先のドイツで困窮した少女エリスと出会い、恋に落ちます。しかし、豊太郎は妊娠したエリスを裏切って帰国しました。

この豊太郎は鴎外自身がモデルですが、ではエリスは一体誰なのでしょう？鴎外はエリスのモデルについて生涯言及していません。しかし、鴎外の帰国と前後して来日した女性の存在が確認されています。この女性が、エリスのモデルではないかと言われています。名前はエリーゼ・ヴィーゲルト。森家の説得によって帰国した彼女は、その後、帽子職人になりました。エリーゼが帰国して一年後、鴎外は海軍中将の娘・登志子と結婚しました。

しかし、ドイツでの女性関係の噂は鴎外に不利に働きます。登志子とも『舞姫』を発表した年に離婚しました。鴎外は論争好きで、上官にも反抗的でした。医官としての鴎外は、36歳の時、九州・小倉に左遷されます。日露戦争後、鴎外は軍医の最高位として返り咲き、夏目漱石の活躍に刺激を受けて、創作を再開しました。



参考文献

『夏目漱石解体全書』香日ゆら著 2017年 河出書房新社 910.268 東中野図書館所蔵

『正岡子規 人生のことば』復本一郎著 2017年 岩波新書 911.36 中央図書館所蔵

『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』大修館書店編集部編 2015年 大修館書店 910.2 シ 本町・野方図書館所蔵

明治文学散歩

名作に登場する場所をめぐって、作品の世界を想像してみませんか？

台東区・谷中五重塔

～幸田露伴『五重塔』明治 25 年

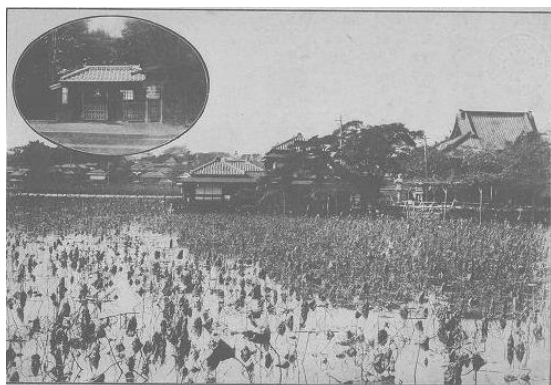
谷中感応寺の五重塔建立にあたり、無名の大工・十兵衛が、強引に仕事をえて、塔を完成させます。幸田露伴の最高傑作と称えられる小説です。五重塔は戦後に焼け落ちた後、再建されていません。



台東区・不忍池の弁天堂

～森鷗外『雁』明治 44 年

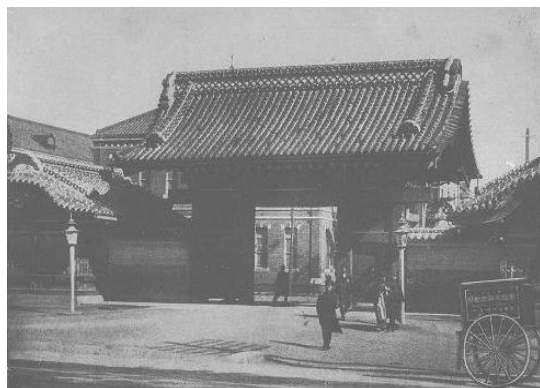
貧しさのために高利貸しの愛人となったお玉。大学生の岡田に対して恋心を抱きますが、偶然からその思いは永遠に届かなくなります。岡田が語り部の”僕”と散歩に出た場所です。



文京区・東京帝国大学赤門

～夏目漱石『三四郎』明治 41 年

熊本から上京した三四郎が直面する、さまざまな問題が描かれます。永遠の青春文学と評価の高い一作。三四郎が通った東京帝国大学の赤門は、現在国の重要文化財となっています。



台東区・鷲神社

～樋口一葉『たけくらべ』明治 28 年

吉原遊郭付近、子ども達は表町と横町に分かれて対立していました。吉原の太夫を姉に持つ美登利は、竜華寺の信如に恋をします。物語の最後に、鷲神社の祭礼の様子が描かれています。

※画像は国立国会図書館 WEB サイトから転載。



展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
現代語訳西国立志編	サミュエル・スマイルズ 著	PHP 研究所	2013	159 ス
深読み日本文学	島田雅彦 著	集英社 インターナショナル	2017	910.2 シ
佐幕派の文学 「漱石の気骨」から詩篇まで	平岡 敏夫 著	おうふう	2013	910.26 ヒ
夏目漱石を読む	吉本 隆明 著	筑摩書房	2009	910.268 ナツ
漱石俳句集	夏目 漱石 著	岩波書店	1990	911.36 ナ
藤村詩集	島崎 藤村 著	新潮社	2008	911.56 シ
吾輩も猫である	赤川 次郎 ほか著	新潮社	2016	913.68 フ
眠れなくなる夢十夜	阿刀田 高 ほか著	新潮社	2017	913.68 ネ
生まれてきた以上は、生きねばならぬ	夏目 漱石 著	新潮社	2017	917 ナ

明治の文学について調べてみよう！

今回ご紹介した他にも明治の文学に関する図書はたくさんあります。また、図書のほかに、雑誌記事、新聞などでも調べられます。いろいろな情報源を使って、調べてみましょう。

1. キーワードを使って調べよう



次のキーワードを参考にして調べよう。

近代文学	言文一致運動	写実主義	紅露時代	擬古典主義
浪漫主義	俳句	自然主義	私小説	高踏派

2. 基本的な情報源を使って調べよう

辞書・事典類を使って、テーマについての基本的な事柄を押さえよう。

書名	請求記号	所蔵館
万有百科大事典	031 バ 1	本町・東中野
日本近代文学大事典	910.26 ニ	本町・中央・南台・鷺宮・東中野・江古田・上高田
新潮日本文学辞典	910.3 シ	本町・中央・野方・南台・鷺宮・東中野・江古田・上高田

3. 図書を探そう

図書館では、関連分野ごとに図書が並んでいる。[テーマの欄]を実際に見て、図書を探そう。

分野	請求記号	分野	請求記号	分野	請求記号
日本文学	910	作家研究(日本)	910.26	小説(日本)	913.6

図書館のホームページやOPACを使って、図書を探そう。



〔中野区内に図書があるか〕

●中野区立図書館ホームページを使って調べよう。

→ <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.asp>

〔東京都内に図書があるか〕

●東京都立図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

〔国内に図書があるか〕

●国立国会図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.ndl.go.jp/>

4. 雑誌・新聞記事を探そう

●関連の雑誌を調べよう。

雑誌名	出版者	所蔵館
文藝春秋	文藝春秋	本町・中央・野方・南台・鷺宮・東中野・江古田・上高田

※他にも、「東京人」や「ダ・ヴィンチ」などの雑誌で、明治文学の特集が組まれることがあります。

●中央図書館参考室のオンラインデータベースを使って、調べよう。

日経テレコン21	1975年からの日経4紙(経済・産業・金融・流通)の新聞全文(収録範囲は媒体によって異なります。1981年9月までは見出しと一部記事の抄録のみ)や企業情報、人事情報が検索可能。
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞のほか、AERAなどが検索可能。
MAGAZINE PLUS	雑誌記事や論文情報検索が可能。
WHO PLUS	歴史上の人物から現在活躍中の人物について検索可能。
官報情報検索サービス	1947年から当日までの官報が検索可能。
D1-Law.com	判例・法律情報が検索可能。

5. インターネットを使って調べよう

●青空文庫(<http://www.aozora.gr.jp/>)

著作権の切れた作品と公開許可作品を電子化し、インターネット上で公開しています。

●近代日本人の肖像(<http://www.ndl.go.jp/portrait/>)

国立国会図書館のホームページで公開している、近代に活躍した日本人の肖像が検索できます。



本町図書館からのお知らせ

本町図書館「個性ある図書館」展示「読み直し！明治の文学」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。

☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00～11:30

第4水曜日 15:30～16:00

児童室にて開催中！

第4土曜日は乳幼児向けの

「おひざでだっこのおはなし会」

☆個性づくり展示☆

下記の個性づくりの本は展示しています。

第三十七回・洋楽

第三十八回・日本映画

第三十九回・江戸時代と江戸

第四十回・報道写真

児童コーナー

春の子ども会

平成 30 年4月7日(土)

11:00～12:00

第一回～第三十六回の
個性づくりの本は
一般書架にあります。

☆3月・4月の休館日のご案内☆

<3月>

12日(月)

30日(金)・館内整理日

<4月>

9日(月)

27日(金)・館内整理日

「本町ほのほのだより」
第42号は4月28日
発行予定です。

